

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回12月の「てがたん」は12月13日(土)で「初冬の散歩道」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは12月6日(土)です。よろしくお願いいたします。

11月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→漁協前→ミニ手賀沼→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2014年11月8日(土) 10:00~12:00 / くもり
- 参加者 18人 (一般14人、子ども4人)
- 市民スタッフ 9人 (石原直子、伊東茂子、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2人 (塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 11月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/
 ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、コサギ/クイナ科：バン、オオバン/カモメ科：セグロカモメ/カワセミ科：カワセミ/
 キツツキ科：コゲラ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：
 ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/メジロ科：メジロ(声)/ヒタキ科：ツグミ、ジョウビタキ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：
 ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：オオジュリン/外来種や家禽：コブハクチョウ、バリケン、
 ドバト

【哺乳類】 イヌ科：タヌキ

【両生類】 アカガエル科：ニホンアマガエル

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：エビガラスズメ(幼虫)、ウラナミシジミ/バッタの仲間：ツツレサセコオロギ(声)、オカメコオロギ(声)、
 マダラスズ(声)、シバズ(声)、カネタタキ(声)

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、ハキダメギク、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/
 タデ科：イヌタデ/ナス科：イヌホオズキ/アゼトウガラシ科：ウリクサ/クマツヅラ科：ボタンクサギ/ツバキ科：サザンカ/
 ヒユ科：ナガエツルノゲイトウ

【実】

クスノキ科/シロダモ/ニレ科：ムクノキ/ブナ科：マテバシイ/バラ科：トキワサンザシ/ウルシ科：ハゼノキ/メギ科：ナンテン

11月の観察アルバム



今回のがたんのテーマは「カモの衣替え」でした。オナガガモを例に、様々な換羽（羽の抜け替わり）の段階を観察しました。その他にコガモやマガモ、カンムリカイツブリなどの冬鳥を観察しました。

手賀沼遊歩道では、高い木の上で鳴くモズやムクノキの実を食べるドバトの姿などを観察しました。



今月の案内人 須貝基康さん



① きれいな繁殖羽に換羽したオナガガモのオス



② 嘴の両脇の青みがかった灰色がオスの特徴



④ 白い胸の羽に換羽前の茶色い羽が残るオス



⑤ まだ額の白い部分（額板）が小さいオオパンの幼鳥



⑥ ミニ手賀沼で休んでいたカルガモ



オナガガモ

漁協前で羽づくろいをしていたオス。よく見ると肩羽にまだ換羽前の羽が残っていました。

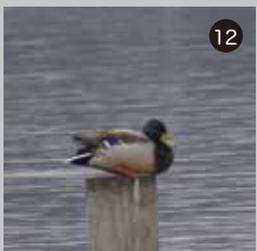


11月てがたんの観察生物とルート



オナガガモ

換羽中のオス（上）と比べるとメス（下）は嘴の灰色がなく、黒っぽいことがわかります。



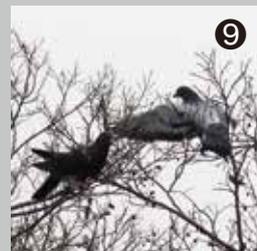
⑫ 杭の上で休むマガモ



⑪ 市民農園前の植生帯で餌を食べるコガモ



⑩ 杭に腹をつけて休むカワウ



⑨ ムクノキの実を食べるドバト



⑧ けやし広場前で観察したカンムリカイツブリ

今月の鳥 コガモ

(カモ目カモ科)

カモは北の繁殖地で子育てが終わると全身の羽が抜けかわり、敵に襲われないように、オスはメスに似た目立たない羽衣（エクリップス）にかわります。

今回のがたんで、コガモを観察しましたが、エクリップスはメスによく似ているため、遠くから観察しても判別するのは、なかなか難しいです。



コガモ オス 成鳥 エクリップス

三列風切はメスに比べ黒い部分が目立ち、白い部分との境がはっきりしている。



コガモ メス 成鳥

三列風切はオスに比べ茶色がかかり、白と黒の部分との境がぼんやりしている。